

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	石渡 尚子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	※集中授業
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か確認する。同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、安心、安全な場を作る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。	
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	美容のプロを目指す上で① -振り返りと個人目標設定-	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。 ITリテラシー実施
2	美容のプロを目指す上で② -学校ルールの再確認と業界研究-	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようにする。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。
3	職業研究	ヘアメイクアップアーティストの仕事内容を理解する
4	業界研究①	ヘアメイクになる為の流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる
8	美容のプロを目指す上で③ -現場実習と今後の目標設定-	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えが出来るようになる
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する コンテストについて
12	グループ学習(夏休み課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
14	業界研究③	ヘアメイク業界について、様々な視点から調べ、業界を理解する
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを整理する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	石渡 尚子
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜日2限
講師紹介	ネイリストとして原宿・表参道等でのサロンワークや業界経験を活かしてトータルビューティ科の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっていく。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style		事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	Hand book of Life style スケジュール管理のための手帳・ipad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	「学則について理解する①」	セルフマネージメント学校生活の目標をたてる。(個人目標) ITリテラシー実施(小テスト2点) サポートアンケート実施
2	クラス目標の設定 「学則について理解する②」	1年後の自分、クラスを創造し目標を決める。 その目標についてどのように取り組むかを自分たちで決める。GWの過ごし方について。 (小テスト2点)
3	目指す職業について学ぶ	グループワークを通して、自分の意見を伝えること・他者の意見を吸収することを学ぶ。 (小テスト2点/課題2点)
4	特別授業① 卒業生 講話	業界で活躍する卒業生の話を間近で感じ、自分が目指す職業の選択肢の1つにする。 (小テスト2点)
5	職業研究① 「目指す職業について学ぶ」 グループワーク	この学科で目指せる職種について理解する。クラス会議① (ビューティアドバイザー、エステティシャン、ファッションアドバイザー、ネイリスト等) (小テスト2点)
6	職業研究② 「目指す職業について学ぶ」 グループワーク	この学科で目指せる職種についてさらに深く理解し、後期からの専攻授業を知る。 (小テスト2点)
7	中間試験	入学してからを振り返り、学べたこと・今後身につけていきたい事をまとめる。 (中間試験20点)
8	就職活動・現場実習に向けて今から準備すること、 重要事項を知る	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項をクラスで話し合う。 クラス会議② (小テスト2点)
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。 (小テスト2点)
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。 (小テスト2点)
11	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇を使って、準備しておきたい項目を理解する。 夏休みの課題について (小テスト2点)
12	プレゼンテーション力を磨く 「自己PR①」	グループワークを通して、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを学ぶ。 就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力を磨く。 (小テスト2点/課題2点)
13	履歴書の書き方 「自己PR②」	自己PRを作成し、実際に履歴書に記入する。ベアになりプレゼン力・傾聴力を学ぶ。 (小テスト2点)
14	半年間の振り返り	わからない分野の洗い出しをし、必要な知識の整理をする。クラス会議③ 整理をすることで自分自身の課題を見つけ、今後の卒業までの目標を改めて考える。 (小テスト2点)
15	定期試験	美容業界で自分が目指す職業人についての知識をアウトプットすることが出来る。 半年間の振り返りも同時に行う。 (定期試験50点)

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1	実務経験	担当	石田 智子
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・コース	トータルビューティー科	単位	2	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木曜日1限
講師紹介	百貨店などの接客サービスの現場経験をもつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行うので、毎授業積極的に参加すること。					
目的 科目概要	接客業に携わるうえで、自分と自分の仕事に自信を持ち、お客さまとのコミュニケーションが得意で、お客さまのさまざまな要求や課題、問題に対処して解決できる社会人基礎力に優れた「おもてなしのプロ」を目指す。					
到達目標	資格検定教本を通して「おもてなしの心」「型とスキル」を体系的に学び、「おもてなしマスター」資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容 おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、言葉づかいを常に意識すること			
教材						
特記事項	毎授業「教本」「筆記用具一式」を必ず持参すること。決められた座席に着席し、グループワーク等の際には速やかに席移動すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介 科目オリエンテーション(授業ルール、評価、資格検定試験についてなど)
2	おもてなしとは何か・おもてなしの背景	日本におけるおもてなしの背景と実例紹介 グループワーク「おもてなし」とは何か
3	おもてなしの心3つと基本となる型	教本におけるおもてなしの心3つの解説と5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性 事前調査において「傾聴スキル」がなぜ必要かの解説とワーク
5	型2 時間管理	時間管理とは何か グループワーク「待った感」を感じさせない工夫
6	型3 環境設定	五感と季節を意識した、お客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施、終了後の解説解答から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出、お客さまに演出内容をプレゼンテーションする グループワーク「わたしのオススメ」(プレゼンテーション)
9	型5 変化対応①	アサーション4つのタイプの解説とセルフチェック
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング、ストレスマネジメントについて グループワーク「ポジティブシンキング」
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	共通スキル(なぜなぜシンキング、KJ法)とは
12	5つのどの型にも有効な共通スキル②	共通スキル(エゴグラム、コーチング)とは
13	振り返り・まとめ	おもてなしマスター検定試験に合格するための、最終的な準備
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点する、課題を抽出する 記述問題対策に取り組み
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定試験に合格する

科目名 (英)	セルフビューティー self beauty	年次	1	実務経験	担当	古藤 真央
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	水曜日1.2限
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。					
目的 科目概要	憧れられる美容のプロになるには、まずセルフプロデュースが大切。自分の持つプロ像に近づけるように、まずは自分磨きから行う。					
到達目標	普段の自分のメイクではやらないような、さまざまなメイクを楽しみながら習得し、自分の肌に合わせたスキンケア方法や自分に似合うメイクを知ることができる。メイクシートを活用し、思い描いたメイクルックをシートに施すことができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	BASIC MAKEUP		事前事後学習と その内容			
教材						
特記事項	ipadを使います。エプロン、名札を着用。コットンなどの消耗品しっかり持ってくる。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	自己紹介／憧れの人、メイクスタイルの写真をもってくる	憧れられる美容のプロになるには？みんなで自己紹介しながら発表。				
2	肌タイプ分析／無印スキンケア研究／メイクシート	正しいクレンジング、乳化の方法、形状の違いを学ぶ。肌質の種類を勉強。肌別スキンケア方法の確認。メイクシートの記入方法。				
3	スキンケアマッサージ／ベースメイク	教科書より、筋肉に沿った首までのマッサージ。ベースメイクアイテムの違いを知り、違いをまとめる。肌に付けてみる。				
4	ベースメイク／アイブロウ	顔の骨格を知る。自分にあったアイブロウの描き方。色んなアイブロウの形に挑戦。				
5	アイメイク／アイシャドウ	肌色に合ったアイシャドウの選び方。質感の違い。アイライナーやマスカラのコツ。				
6	チーク／コンター／リップ	カラー違いによる印象の違い。なりたい印象になるコンター。口元に合ったリップ。ペンシルの使用方法。				
7	中間試験					
8	コスメパーティ！／ブランドコラージュ作り	デパコスを含んで並べながら、どんなカラーが人気なのか触って使ってみる。ブランド概要を調べ、どんな人がこのブランドを使うのかイメージし、コラージュ作品を作る。				
9	フェミニンメイク	フェミニンに見えるメイクを考え、メイクシート、コラージュ作成。				
10	クールメイク	クールに見えるメイクを考え、メイクシート、コラージュ作成。				
11	パーツメイク／ためき顔ときつね顔	半々で、ためきに見える顔ときつねに見える顔を実践。				
12	カジュアルメイク	カジュアルに見えるメイクを考え、メイクシート、コラージュ作成。				
13	アーティストックメイクに挑戦	普段しないような海外メイク風にも挑戦してみる。メイクシート、モード系ファッションコラージュ作成。				
14	季節が持つイメージ	グループに分かれて季節を決める。季節を意識し、みんなで考えたテーマをもとにメイクを施す。季節のファッションをイメージしたコラージュ作り。				
15	定期試験	実技試験				

科目名 (英)	ファッション総合 Fashion General	年次	1	実務経験	担当	川上 貴子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・コース	トータルビューティー科	単位	4	有	開講区分	前期
講師紹介	客室乗務員時代から信頼感や安心感のあるヘアスタイルやメイク、立ち居振る舞いを独自に研究。現在はイメージコンサルタントとしてパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピング同行など老若男女問わず実施。また、行政関係のセミナー登壇、大手結婚相談所会員向けのレッスンも担当、阪急メンズ東京の外部スタイリストでもある。					
目的 科目概要	幅広いファッションセンスやスタイル、ヘアスタイル、メイク、ネイルとのトータルビューティーの考え方を身につけ、発表することができるようになる。ファッション業界、美容業界での実務に活かせるコミュニケーション力を習得する。					
到達目標	憧れられる美容のプロを目指すうえでのファッションセンスを身につける。様々なファッションスタイルを学び、自分に似合うスタイルや新しい発見に結びつける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著			事前事後 学習と その内容		
教材	別紙プリント					
特記事項	iPad 持参					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッションとは	・自己紹介 ・ファッションとは何かを考え学ぶ
2	パーソナルスタイリング①	・ベーシックアイテムを使って基本のスタイリング技術を学ぶ
3	パーソナルスタイリング②	・ベーシックアイテムを使ったスタイリングのシーズン別のスタイリング技術を学ぶ
4	パーソナルスタイリング③	・体型別、コンプレックス別のスタイリング技術を学ぶ
5	色彩とパーソナルカラー①	・色彩が持つ特徴と印象 ・ファッションアイテムの色との関係 ・パーソナルカラー診断とは
6	色彩とパーソナルカラー②	・パーソナルカラー診断とファッション
7	中間試験	・筆記試験 ・パーソナルスタイリング 発表
8	トレンド&スタイル	・トレンドとスタイルの違いを学ぶ
9	骨格診断とファッション	・骨格診断とは ・骨格タイプ別アイテム、ファッション
10	骨格診断とファッション	・骨格タイプ別ファッションとコーディネート
11	コレクション	・コレクションとは ・コレクションから学ぶファッションスタイル
12	ウォーキング&ポーズ	・接客や普段の動作で綺麗な所作を学ぶ
13	セルフプロデュース	・自分のチャームポイントを知る ・チャームポイントを活かしたファッションスタイリング
14	コンテスト準備	・今までの振り返り ・期末試験対策 ・コンテスト準備
15	期末試験	・筆記試験 ・試験の振り返り ・スタイリング提案、発表

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜 1.2限 / 金曜 1.2限
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントを行う上で必要な知識と技術を丁寧に分かりやすく教える。トリートメントを行うことで、肌や心がどのように変化するか体感しながら授業に参加してほしい。					
目的 科目概要	目的:フェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:クレンジング、フェイシャルマッサージを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	汚れを残すことなく肌に負担をかけずにクレンジングが出来る。 フェイシャルマッサージの6手技を習得し、正確にマッサージが出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	認定フェイシャルエステティシャン 理論と技術		事前事後 学習と その内容			
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					
授業計画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	トリートメントの概要 事前準備の仕方	この授業の概要と進め方について ワゴン、ベットセッティングの仕方、ホットタオルの作り方、手指消毒の仕方				
2	フェイシャル基礎理論 モデルの誘導の仕方	クレンジングの目的と手法について、クレンジングに必要な用具、備品の説明 モデルの誘導、ターバンの巻き方の技術を習得する				
3	皮膚のしくみと働き クレンジング①	皮膚の役割 ポイントメイク落としの技術を習得する				
4	皮膚のしくみと働き クレンジング②	皮膚の構造(表皮) ベースメイククレンジング、スポンジ拭き取りの技術を習得する				
5	皮膚のしくみと働き クレンジング③	皮膚の構造(ターンオーバー、真皮) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する				
6	皮膚のしくみと働き クレンジング④	皮膚の構造(皮下組織、皮膚の付属器) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する				
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する				
8	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ①	マッサージの目的効果、禁忌事項 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する				
9	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ②	マッサージの基本6手技の手法と効果 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する				
10	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ③	マッサージに関する骨・筋肉 マッサージ強擦法、揉擦法の技術を習得する				
11	肌タイプについて フェイシャルマッサージ④	肌タイプの種類と特徴 マッサージ打法、振動法、圧迫法の技術を習得する				
12	美しい肌について フェイシャルマッサージ⑤	美しい肌の条件とは マッサージ6手技の技術を習得する				
13	クレンジング～マッサージ①	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う				
14	クレンジング～マッサージ②	クレンジング～マッサージまでを効果的に行う				
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する				

科目名 (英)	ヘアメイク I Hair Make up I	年次	1	実務経験	担当	伊藤 ひとみ					
		授業形態	演習								
		時間数	60								
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期					
					曜日・時間	木曜日3.4限					
講師紹介	幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい										
目的 科目概要	お客様には足の先から頭の手先まで、トータルでアドバイスのできるビューティアドバイザーとして、自分自身のスタイルからも美しさを演じられ、提案できるように学んでいく										
到達目標	ヘアスタイルを構成する上での基本的な知識と技術を身につける										
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題										
教科書	事前事後学習と その内容 復習、自分自身のスタイルに取り込みながら復習してください										
教材							ヘア道具一式				
特記事項							相モデル、セルフアレンジ時には練習ができるようにセット材で固めすぎずに登校すること				

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	基本の確認	道具の確認(名称、使用用途の確認)立ち位置から、や配置、仕事に向かう姿勢、ブラッシング、ブローキング
2	コテ巻き	アイロンの危険性と扱い方の注意。巻きおろし、平巻き、縦巻き
3	色々なコテ巻き、巻き下ろしスタイル	内巻き、外巻き、ミックス巻き
4	ピンニング	基本のピンワーク 巻きを入れてハーフツイン、ツイストハーフアップ
5	セルフアレンジ&相モデル	巻きの復習と、コテの太さ、髪の色、長さ、巻き方によって仕上がるスタイルの違いを知る。
6	試験対策	色々な巻き方から、試験の巻きスタイルを決める、ハーフツインか、ツイストハーフアップかを練習、タイムトライアル
7	中間試験(ハーフツインorツイストハーフアップ)	40分以内で(ハーフツインorツイストハーフアップ)を作る
8	ポニーテール	黒ゴムの使い方を知り1束のポニーテールスタイルを作る(ローポニー、ポニーテール、ハイポニー)
9	ポニーテールアレンジ	ポニーテールから、お団子スタイル、玉ねぎヘアーなど
10	編み込み	基本の編み込み(表あみ、裏あみ)ロープあみ、編み込みアレンジ
11	編み込みアレンジ	いろいろな編み込みと編み込みからのシニヨン、ハーフアップスタイル
12	アレンジスタイル	コテ巻き、1束、ピンニング、編み込みを使ったヘアスタイルを作ってみる
13	定期試験に向けたデッサンシートの作成	学んできた基礎技術をもとに作りたいスタイルを考え、デッサンシートの展開図を作成する
14	定期試験に向けた練習	デッサンシートの展開図をもとに、定期試験の実践練習、タイムトライアル
15	定期試験	ウィッグにてアレンジヘアスタイルの作成45分

科目名 (英)	メイクアップ総論 I General Make up I	年次	1	実務経験	担当	大和田 一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	火曜日3・4限
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスクール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品開発・プロデュースなど化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的 :メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESKメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。 バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input checked="" type="checkbox"/> 提出課題					
教科書	Make up foundation 1		事前事後 学習と その内容			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題を提出をしていただきます。					
動画視聴しますので必ずipadを準備して下さい。また、メイクアップは細かいプロセスが多いので、毎回必ずノートを取って欲しいです。						

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	マナー・セッティング・スキンケア	正しいセッティングの仕方を習得する メイクアップの様々なマナーを理解する スキンケアの手順を理解する
2	前回の復習/ベースメイク	セッティング～マナーの確認、スキンケア復習。正しいセッティングの仕方を習得する スキンケアの手順を習得する。 ベースメイクの種類と特長、作り方を理解する。
3	前回の復習/アイブロウ	スキンケア～ベースメイク復習。スキンケアの手順を熟練する。 ベースメイクの作り方を習得する。 アイブロウアイテムの種類と特長、描き方を理解する。
4	前回の復習/アイメイク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウ復習。ブラシを使ったアイシャドウの付け方、グラデーションの出し方、アイラインの引き方、ビューラーの使い方、マスカラの付け方を学ぶ。
5	前回の復習/リップ・チーク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウおよびアイメイク復習。アイメイクの仕方を習得する。 リップラインの描き方を理解する。 チークの付け方を学ぶ。
6	1～5回まで授業の振り返りと中間試験トレーニング	1～5回目までの総復習。時間に入ることと完成度のバランスを上げることを目指す。
7	中間試験	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
8	フルメイク	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
9	ゴールデンプロポーションとシェーディング	フェイスプロポーションを計測し顔のパーツの配置の違いを理解する。顔の黄金比を知り、美しいパーツ配置のバランスを理解する。ハイライトとシャドウによるベースメイクの立体感の付け方を学ぶ。
10	前回の復習/アイブロウの形を変えて描く	シェーディングを含めたベースメイク。過不足無い自然な立体感のあるシェーディングを習得する。 自然に長く・短く、太く・細くするアイブロウの描き方を理解する。
11	JESKメイクアップ検定対策	JESKメイクアップ検定受験内容の説明・セッティング、身だしなみの確認・各パーツの仕上げ方 規定時間30分フルメイクの感覚を知る。
12	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
13	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
14	JESKメイクアップ検定対策	30分フルメイクの時間に入るように各パーツごとの時間配分を身につける。 筆記対策として過去問題を解いて知識を習得する。
15	定期試験	フルメイク(30分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(30分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。

科目名 (英)	ネイルケア&アート nail care & nail art	年次	1	実務経験	担当	殿村 雅子・瀧内 智子
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・コース	トータルビューティ科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	水曜日3.4限
講師紹介	様々なシーンでのネイルサロン等のサロンワークを活かしネイリスト技能検定合格へ導く					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定3級の試験に合格するための理論と技術を習得。デモを取り入れ、基本である道具の準備、実技や接客の手順・テーブル回りのセッティングを学ぶ。ネイルケアカラーを理解し、3級スタイルを覚え内容を把握して受講してほしい。ペイントアートをマスター出来るようケアカラーやアート総合タイムトライアルを取り入れ、検定直前には模擬試験を実施。全生徒が合格できるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定3級の実技を学び、試験合格レベルに達するよう技術を習得。 相モデルを取り入れたトレーニングを行う 中間試験と期末試験のタイムトライアルで時間も意識していく。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルケアカラーを理解する	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 使用教材を覚える。手順・セッティングを覚える。デモ。 【履修確認】 小テスト2点(セッティング)
2	ケアの徹底トレーニング・概論(歴史、爪の構造)	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルトレーニングでケアを学ぶ。ポイントデモ。 【履修確認】 小テスト2点(仕上げ)
3	カラーリング徹底トレーニング・概論(爪の病気とトラブル)	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 ペーパーカラーと相モデルトレーニングでカラーリング、修正を覚える。ポイントデモ。 【履修確認】 小テスト2点(仕上げ) + 課題点2点(ペーパーカラー)
4	検定3級スタイルを覚える。	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 ネイル検定3級内容を理解する。要項説明、実技採点基準ポイントを把握する。 【履修確認】 小テスト2点(検定3級スタイル)
5	ケアカラー・概論(消毒法)	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】 小テスト2点(仕上げ)
6	ケアカラー・概論(生理解剖学、皮膚科学)	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】 小テスト2点(仕上げ)
7	中間試験	【授業形態】 実習 【到達目標】 相モデル ケアカラー (70分) 【履修確認】 中間試験20点
8	ケアカラー復習	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルでケアカラートータルトレーニング。 【履修確認】 小テスト2点
9	ペイントアートをマスターする・概論(色彩学)	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 ストローク練習とチップトレーニングを実施し検定課題である「フラワー」アートをマスターする。デモ。 【履修確認】 小テスト2点+課題点2点
10	ケアカラー、アート総合タイムトライアル	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルでケアカラートータルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】 小テスト2点
11	検定3級直前の模擬試験	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルで3級内容のタイムトライアル。ポイントデモ。 【履修確認】 小テスト2点
12	検定実技報告	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 出来たところと出来なかったところを自己採点。相モデルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】 小テスト2点
13	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 ケアカラー復習。相モデルで3種塗分け(マット、パール、シアー)デモ。 【履修確認】 小テスト2点
14	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】 講義・実習 【到達目標】 相モデルでコンテスト向けケアカラータイムトライアル。 【履修確認】 小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】 実習 【到達目標】 ケアカラー (70分) 【履修確認】 期末試験50点

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Career DevelopmentⅡ	年次	1	実務経験	担当	石渡 尚子
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	後期
講師紹介	ネイリストとして原宿・表参道等でのサロンワークや業界経験を活かしてトータルビューティ科の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。 仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	Hand book of Life style スケジュール管理のための手帳・ipad					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	後期目標設定	前期を振り返り、後期の目標設定。 就職活動の流れを含んだ後期のスケジュールを理解する。
2	就職スケジュール・履歴書・面接対策	就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。 また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。
3	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
4	履歴書の書き方①	就職活動における履歴書の役割や作成のポイントを学ぶ。 基本項目を書いてみる。
5	履歴書の書き方②	履歴書プロフィール欄の書き方を理解し、書いてみる。 求人票の見方も同時に学ぶ。
6	自己紹介、自己PRのポイントを知る	自己紹介の練習を行い、他人から見た自分の姿を把握する。
7	中間試験	履歴書プロフィール欄の完成。丁寧に仕上げる。
8	就活エントリーについて理解する	エントリーシートや動画エントリーについて理解し、自身で準備をすすめられるようになる。
9	面接対策	さまざまな面接スタイルを学び、面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
10	履歴書作成①	履歴書のその他の項目について学び、準備をする。 エントリーシートとの違いを知る。
11	面接ロールプレイ①	ロールプレイで実践的に学ぶ。
12	電話とメールのマナー	電話のかけ方を学び、印象の良い電話対応が出来るようになる。 面接先や説明会会場での所作を学び、印象の良い対応が出来るようになる。
13	就職対策	春休みの就職活動について理解し、主体的に活動をするための手段を理解知る。
14	履歴書作成③ 面接ロールプレイ②	履歴書のすべての項目を完成させる。 模擬面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
15	定期試験	履歴書の完成と模擬面接を通して、就職活動の準備を整える。

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair Make up	年次	1	実務経験	担当	伊藤ヒトミ
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	4		曜日・時間	火曜日3.4限
講師紹介	幅広い現場でヘアメイクを担当している講師が現場で必要とされることも含めて分かりやすくレクチャーするので積極的に学んで欲しい					
目的 科目概要	お客様には足の前から頭の前まで、トータルでアドバイスのできるビューティアドバイザーとして、自分自身のスタイルからも美しさを演じられ、提案できるように学んでいく					
到達目標	ヘアスタイルを構成する上での基本的な知識と技術を身につける					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品 <input type="checkbox"/> 提出課題					
教科書						事前事後 学習と その内容
教材	ヘア道具一式					
特記事項	相モデル、セルフアレンジ時には練習ができるようにセット材で固めすぎずに登校すること					
復習、自分自身のスタイルに取り込みながら復習していただきたい						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	技術チェック	アイロン、編み込み、ピニングなど技術レベルチェック
2	アイロンテクニック	外し巻き、スパイラル、ツイスト巻き、ヨシンモリ、スヌーピー巻き 巻き下ろしスタイル口
3	いろいろな三つ編み、編み込み	レース編み、丸三つ編み、平4つ編み、丸四つ編み、ゴム隠しからの、あみ下ろし
4	アレンジヘア	クルリンパ、ゴム隠しからのアレンジ シニヨン セット材の使い方 前髪後毛アレンジ
5	相モデルでアレンジヘア	髪資によってセット材を使い分ける。
6	試験対策	編み込みを使ったアレンジヘア コンセプトシート&展開図の作成
7	中間試験(相モデルで編み込みを使ったアレンジヘア)	試験時間40分
8	アップスタイル	逆毛の立て方、スクリュー逆毛、カールスタイルからの逆毛
9	アップスタイル	カールスタイルのパーティヘア
10	アップスタイル	抱き合わせ、夜会
11	シニヨンスタイル	シニヨンスタイルのアップヘア、逆毛を使ったシニヨンスタイル
12	テーマ撮影練習	ペアでヘアメイク(アップスタイル) 撮影のコンセプトシート作成→テーマ撮影のヘアメイク
13	テーマ撮影	考えたテーマに沿った撮影
14	定期試験に向けた練習	デッサンシート&展開図の作成、タイムトライアル
15	期末試験	セルフのアップスタイルorパーティスタイルのヘアメイク

科目名 (英)	パーソナルカラー Personal color	年次	1	実務経験	担当	堀川 彩里
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2	有	開講区分	後期
					曜日・時間	Aチーム(水1限) / Bチーム(水2限)
講師紹介	パーソナルカラーリストとして、パーソナルカラー診断、パーソナルカラーメイクやコンサルティング等の現場経験を活かし、パーソナルカラーの知識を実際の仕事現場でも使えるよう、検定試験対策の授業展開のみならず、似合う色の効果、似合う色の活用方法など事例を紹介しながら授業を実施していきます。					
目的 科目概要	目的: 似合う色を身につける事で、よりよく自己を印象づける「自分ブランディング」ができるようになるポイントを学ぶ(パーソナルカラー検定3級)。概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとになる色彩学の基礎を習得する。自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げる。学んだ知識をメイクやネイルなど様々な美容の現場で活かしたり、お客様に提案できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級 公式テキスト・問題集		事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。		
教材	新配色カード199b、トーンマップ					
特記事項	演習(色素チェック・ドレーピング)において、メイク・カラーコンタクト NGの回があります。はさみ、のり、筆記用具を持参してください。					

授業計画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション(パーソナルカラー概要) 色彩の基本①(色の三属性)	・パーソナルカラーの意味と必要性、判断の裏付けとなるモノの大枠を学ぶ ・色彩の基本である、色の三属性(色相・明度・彩度)を理解する。CW(色相環作成)
2	色彩の基本②(色の三属性、トーン)	・色の三属性の明度・彩度を理解する。 ・「色の三属性」を使って、色を表現できる(伝えられる)ようになる ・トーンの考え方と仕組みを理解する。CW(トーンマップ)
3	色彩の基本③(トーンとイメージ)	・トーンとイメージ(言葉)の関わりを学び、色の表現力を養う。CW(トーンマップ)完成
4	パーソナルカラーの基本 パーソナルカラーの4シーズンのカラーパレット	・パーソナルカラーでの色の三属性の捉え方を理解する ・パーソナルカラーの4つのパレットについて、色の特徴とイメージを理解する、カラーパレット作成
5	似合う色の基準となる色素について①	・色素(髪・眼・肌)の特徴を知りそこから4シーズンの代表的な色素傾向を知る ・PIIについて理解する
6	似合う色の基準となる色素について② ドレーピング手法 似合う色と似合わない色①	・自分の色素を知ることで、自分に似合う色の傾向を理解する。自分の色素チェックをしてみる。 ・ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。似合う色を”三属性の得意な要素”で捉える。
7	中間試験 似合う色と似合わない色②	・中間試験 ・ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。似合う色を”三属性の得意な要素”で捉える。
8	ドレーピング実習①	・グループ分けをし、実際にドレーブを使って色による顔色の変化(顔映り)を体感する。
9	ドレーピング実習②	・前回に引き続き、ドレーピング実習。 ・診断結果をまとめる(自分の色素と似合う色のつながりをまとめる)。
10	似合う色の取り入れ方、PIを生かした自分ブランディング	・4シーズンそれぞれに似合う色、柄、素材、メタリック、メイクカラーを理解する。ドレーピング実習を踏まえて、自分に似合う色の取り入れ方を理解する。4シーズンシート作成
11	パーソナルカラーと対比	・対比(明度、彩度、色相)について理解し、色の影響の現れやすさを確認する。
12	色が見える仕組み、光と色 反射と吸収 色名	色彩学の反射・吸収が、パーソナルカラーの顔映りにどの様に関わるのかを理解する 慣用色名と系統色名の違いを理解する。
13	検定対策	・これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する ・過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる
14	定期試験	・定期試験の実施(過去問題などを併用)、解説
15	パーソナルカラー3級検定試験	注意事項の説明、試験時間60分

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	韓国語:クオン ジン(NH) 英語:アンドリュー(NH)
		授業形態	演習			
		時間数	30			
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2		開講区分	後期
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語:海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語:言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる					
到達目標						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians(8週目授業から使用)		事前事後 学習と その内容 自宅ですべての復習を行うこと。			
教材						
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ることを積極的に授業に参加してください。 授 業					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	【韓国語】基本母音と子音 / 挨拶・自己紹介	ハングルに興味を持たせる ハングルの仕組みを理解しよう 自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ
2	【韓国語】合成母音とパッチム / 挨拶・自己紹介(復習)	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる ハングルを読めるようになる 自己紹介・自身の仕事について紹介出来るようになる
3	【韓国語】基本文法 / 簡単な日常会話	普段使える簡単な日常会話を学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
4	【韓国語】基本文法 / 韓国コスメについて	基本文法を使えるようになる 韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
5	【韓国語】コミュニケーションをとろう	学んだ基本文法を使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
6	【韓国語】復習	定期テストに向けて復習を行う
7	【韓国語】中間試験	中間試験
8	【英語】挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
9	【英語】電話対応/飛び込み客	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる 飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
10	【英語】お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
11	【英語】道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
12	【英語】会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
13	【英語】施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	【英語】復習	定期テストに向けて復習を行う
15	【英語】定期試験	定期試験

科目名	トータルビューティー I	年次	1	実務経験	担当	殿村雅子
	(英) total beauty I	授業形態	演習			
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期 (1回～7回)
		単位	2		曜日・時間	水曜日3.4限
講師紹介	様々なシーンでのネイルサロン等のサロンワークを生かす					
目的 科目概要	アクリル絵の具やポリッシュでできるアートを応用し、アレンジできるような技術を身につける。					
到達目標	ファッションに合わせたネイルをコーディネートできるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。() は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具、チップ、チップスタンド、スポンジ、ハサミなど					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	ポリッシュアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ラメグラデ、マーブル。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点				
2	ポリッシュアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】フレンチ、変形フレンチ(逆フレンチ、斜めフレンチ、シェvron) など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点+課題点4点				
3	フラットアート①	【授業形態】講義・実習 【到達目標】スポンジアート(グラデ、チェック、タイダイ、デニム) など。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点				
4	フラットアート②	【授業形態】講義・実習 【到達目標】レース、ツイード、リボンなど。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点				
5	フラットアート③	【授業形態】講義・実習 【到達目標】アニマル(ヒョウ、ゼブラなど)。デモ。チップ制作 【履修確認】小テスト2点				
6	ファッションイメージに合わせたコーディネート	【授業形態】講義・実習 【到達目標】イメージ分類8種説明。相反するイメージを2種選び、8～12で習ったアートを使用したアートを施す。1padにてカラージュ作成。5本2セット。 【履修確認】小テスト2点+課題点4点				
7	定期試験	【授業形態】実習 【到達目標】カラージュ・デザイン画・チップ制作(70分) 【履修確認】期末試験30点				
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

科目名 (英)	トータルビューティ I Total Beauty I	年次	1	実務経験	担当	工藤 亮子
		授業形態	演習			
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	30	有	開講区分	後期(8回～15回)
		単位	2		曜日・時間	木曜 1・2限
講師紹介	イメージコンサルタントとして起業して15年目。NYのFashion Institute Technology (FIT) イメージコンサルティングコースでの専門的な学びを活かし、独自のコンサルティングスタイルを確立。経営者、芸能人、文化人のイメージ戦略、自分らしく生きたい女性の魅せ方まで、幅広く支援している。NHKあさイチをはじめ、メディア出演掲載、日本橋三越、銀座三越、阪急メンズ、大丸東京など百貨店でのトークイベント、スタイリングイベントの実績多数。					
目的 科目概要	秋冬のトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学び、就職活動に結びつける。ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	ファッションのトレンドやTPO別スタイル、様々なファッションブランドの特徴について学び、ファッション業界、美容業界への就職に役立て、即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著			事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項	iPad持参					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	—	—				
2	—	—				
3	—	—				
4	—	—				
5	—	—				
6	—	—				
7	—	—				
8	ファッションのトレンドとリアル	・ファッションの歴史 ・トレンドの生まれ方 ・リアルショップのエリア研究				
9	TPO別スタイル	・場に相応しい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方 ・就職活動スタイルを考える				
10	ファッションブランド研究	・ファッションブランド研究(コレクション・リアルショップ・WEB・ファストファッション)				
11	ファッション・アパレル業界研究	・ファッション、アパレル業界研究 ・パーソナルカラー診断、骨格診断、顔タイプ診断				
12	ファッションコーディネート	・イメージ別・シチュエーション別パーソナルスタイリング、撮影(相モデルorモデル実習)				
13	ファッションコーディネート	・カウンセリング実施後スタイリングプレゼンテーション、撮影(相モデルorモデル実習)				
14	今までの振り返り	・今までの復習 ・試験対策 ・トータルビューティ研究				
15	期末試験	・筆記試験 ・試験の振り返り ・トータルビューティ研究発表				

科目名 (英)	ヨガ Yoga	年次	1	実務経験	担当	手塚 沙也花
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・専攻	トータルビューティ科	単位	2		曜日・時間	金曜日 Aチーム2限/ Bチーム1限
講師紹介	長きにわたり現場でヨガやピラティス・トレーニングなどを経験を経て、現在、大手スポーツクラブや独自で開いたスタジオでトレーニング・ヨガ・ピラティスのレッスンを行っています。 自らの経験を活かし、運動はもちろん、健康的な食事や自宅でもできるストレッチ・トレーニングのやり方をお伝えします。					
目的 科目概要	ヨガの呼吸法やポーズを行い、集中力を高めたり、その時々のお気持ちの調整などセルフコントロールを学ぶ。 また、基礎体力の向上、美しい姿勢やたちふるまいを習得するためにヨガやピラティス・トレーニングを実施する。					
到達目標	今後の面接や就職先での立ち振るまい、美しい姿勢を身に付ける。 あらゆる場面でも前向きにいられるように、お気持ちの調整方法を身に付ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験 □作品 □提出課題					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	体の柔軟性は人それぞれです。人とは比べずに自分の体を 知りながら、無理をせずに行っていきましょう。		
教材	資料配布					
特記事項	毎講義で実技を行うため、授業が始まるまでに動きやすい服装を 着て準備すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	今後の講義の説明・ヨガ体験	ヨガ講義を受ける必要性を知る。ヨガレッスン体験。
2	ヨガの歴史	ヨガの効果や歴史を知る。セルフストレッチ・マッサージ実施。
3	呼吸法・自律神経について	呼吸法を行い、自律神経を整える。
4	背骨・骨盤の役割	背骨や骨盤の役割を理解し、意識をしながら動かしていく。
5	ピラティスとは？	ピラティスを知り、体験する。
6	アライメントチェック	アライメント(良い姿勢)をチェックし、自分の体の状態を知る。
7	中間試験	今までの講義の内容を理解しているか確認する。
8	アロマの効果／リラックスヨガ	アロマの効果を知り、自分のリラックス方法を見つける。
9	太陽礼拝／アクティブヨガ	太陽礼拝を知る。アクティブなダイエットヨガを体験する。
10	トレーニング	トレーニングの効果を学び、自宅でもできるトレーニングを実施。
11	ストレッチ	ストレッチの必要性を理解し、自宅でもできるストレッチを実施する。
12	食事・栄養について	健康的な食事や、必要な栄養素を学ぶ。
13	ヨガ・ピラティス・トレーニング	これまで行ってきた運動を再度確認しながら実施する。
14	これまでの授業の振り返り	授業内容を振り返り、理解しているか確認する。
15	定期試験	ヨガの講義で学んだことを今後どのように活かせるか再確認する。

科目名 (英)	ブランド研究 I Brand Research I	年次	1	実務経験	担当	古藤 真央					
		授業形態	演習								
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期					
		単位	4		曜日・時間	金曜 3・4限					
講師紹介	ELCジャパン株式会社M.A.Cでビューティアドバイザーとして13年間勤務。リテールマネージャーとして、店舗運営にも従事していた。										
目的 科目概要	プチプラからデパートコスメのブランド概要、ブランドのイメージメイクを学ぶ。リサーチ力やプレゼン力も同時に身につける。										
到達目標	それぞれのメイクブランドのヒーローアイテム、歴史などを深掘りし、リサーチ力を養いながら業界のことをさらに知ることができる。ブランドが持っているイメージメイクができ、それをプレゼンすることにより、人前で堂々と発表ができるようになる。										
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■筆記試験 ■実技試験										
教科書	事前事後学習と その内容 いろいろなブランドに興味をもち、実際に接客を受けてみる。										
教材							学校教材				
特記事項							ipadは毎回使用します。				

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	好きなブランド、ルック発表	自分の好きなブランドやルックを発表。ファッション、ネイルもMIXし、コラージュして発表。
2	ラグジュアリーブランド調べ	CHANEL、DIOR、サンローランなどの会社概要、歴史、人気アイテムをグループごとに調べ、発表。メイクイメージ、ファッションイメージをつくっておく。
3	ラグジュアリーブランドメイク	メイクデザインシートを作成。実際にセルフメイクを施す。
4	ガーリーブランド、クールブランド調べ	ジルシュアート、ポール&ジョー、NARS、MACなどの会社概要、歴史、人気アイテムをグループごとに調べ、発表。
5	ガーリーorクールメイク	メイクデザインシートを作成。実際にセルフメイクを施す。
6	プチプラコスメブランド調べ	有名なプチプラコスメブランドを調べ、発表。デパートコスメとのアイテムの違いを考えてみる。
7	中間試験	今まで学んだ知識・技術を作品に仕上げる。
8	国産ブランド調べ	資生堂、カネボウ、コーセーなどの会社概要、人気アイテムをグループごとに調べ、発表。
9	国産ブランドメイク	メイクデザインシートを作成。実際にセルフメイクを施す。
10	韓国コスメブランド調べ	好きな韓国コスメブランドの概要、人気アイテムを調べ、発表。
11	韓国コスメメイク	メイクデザインシートを作成。実際にセルフメイクを施す。
12	インスタグラムの重要性	選んだブランドのインスタを見て、どういう内容でアプローチをしているか調べる。
13	雑誌のメリット、デメリット	雑誌とSNSの違いなどをみんなでグループワーク。
14	定期試験準備	振り返り&改善点を見つける
15	定期試験	今まで学んだ知識・技術の集大成を作品に仕上げる

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅱ General Make Up Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	高岸 裕一
		授業形態	演習			
学科・専攻	トータルビューティ科 TB専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	火曜1.2限
講師紹介	コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くのヘアメイク現場経験をしている。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格 を取得する。4シーズンカラーを理解しメイクアップを修得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ資格を取得する。4シーズンのメイクアップの特徴を理解し習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■実技試験					
教科書	化粧品販売員検定ブロンズデジタルテキスト	事前事後 学習と その内容				
教材	メイク道具一式・iPad					
特記事項	必ずiPadを用意する					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&タッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&タッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	4シーズンカラー スプリングメイク	①色彩学 4シーズンカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	4シーズンカラー サマーメイク	②色彩学 4シーズンカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	4シーズンカラー オータムメイク	③色彩学 4シーズンカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	4シーズンカラー ウィンターメイク	④色彩学 4シーズンカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	ヒューマンカラーチェック	色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ビビット・ソフト を理解し診断する。
13	パーソナルカラーチェック	カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	期末試験対策:4シーズンメイク	実技試験:パーソナルカラーで40分フルメイクの理解と対策
15	定期試験	今まで学んだ技術・知識を作品に仕上げる

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I skin care counseling I	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・専攻	トータルビューティ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	木曜 3.4限
講師紹介	国内外で現場勤務経験を積んできた教員が、スキンケアに対する知識を丁寧に指導する。一人ひとりの肌や体の状態には違いがあることを理解し、効果的な方法を実践・アドバイス出来るようになってほしい。					
目的 科目概要	目的:美肌検定に必要な知識の習得と、ボディ・フェイシャルケアを習得しお客様の要望に答える 概要:美肌検定対策に必要な皮膚学、栄養学、化粧品学、セルフケアの知識を学ぶとともにボディケア・フェイシャルケア全般を学ぶ					
到達目標	・美肌検定に合格する ・ボディトリートメント・フェイシャルトリートメントの種類や効果の違いを理解し、効果的な施術を行う					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品 □ 提出課題					
教科書	美肌検定の教科書	事前事後 学習と その内容	事前コマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
教材	プリント適宜配布					
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。 これまでのエステに関する資料も毎回持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要 ハンドマッサージ	この授業の概要と進め方について ハンドマッサージの効果、禁忌事項、注意事項、技術を習得する
2	ヘッドマッサージ	ヘッドマッサージの効果、禁忌事項を学ぶ ヘッドマッサージの技術を習得する
3	ボディゴマージュ ボディパック	ゴマージュ剤を使用し、角質ケア技術を習得する ボディパックの技術を習得する
4	前操作 & G5	タオルの上からのボディケア技術を習得する G5機器の効果、禁忌事項、技術を習得する
5	ボディマッサージ	ボディマッサージの効果、禁忌事項を学ぶ むくみに効果的なレッグマッサージを習得する
6	選択トリートメント ボディマッサージ	モデルに合わせたトリートメントを選択する
7	定期試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(泡洗顔)	美肌に見せる6つの条件とは 美肌ケアの基本
9	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(ゴマージュ)	美肌に効果的な食べ物の摂り方
10	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(マッサージ)	皮膚の構造と肌タイプについて
11	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(マッサージ)	美肌と4大ホルモン 美肌の4つの大敵
12	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(パック)	化粧品の基本の使い方と選び方
13	美肌検定対策 フェイシャルトリートメント(パック)	マッサージの効果とセルフケア方法
14	定期試験(美肌検定模擬テスト)	これまでの理解度を確認する
15	美肌検定試験	美肌検定筆記試験

科目名 (英)	トレンドリサーチ I trend research	年次	1	実務経験	担当	喜多 俊雅
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	トータルビューティ科 BP専攻	単位	4	有	開講区分	後期
講師紹介	IT・音楽業界の現場で長年培った経験を活かし、学生へ動画制作やSNS発信をわかりやすく伝える。					
目的 科目概要	・SNSで話題のトレンド情報を学び、同時に発信力も身につけることができる。 ・美容系の動画制作をする為に必要な分析力・企画力・編集・撮影スキルなどを身につけることができる。					
到達目標	・即戦力として、若い世代にしかできない発想と行動力で動画・発信ができる人材 ・自分一人でもグループでも動画制作をすることができる人材					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材	資料配布					
特記事項	※ipad					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容系 IT業界を知る。	ipadを使用し、業界研究を行う
2	撮影方法のレクチャー	デモンストレーション、実践 (実際に商材を使用し撮影を行う)
3	編集方法のレクチャー	撮影の続き or 編集作業
4	動画制作 ①	人物・商材 ペアorグループにて素材を集める
5	動画制作 ②	撮影、編集まで実施
6	動画制作 ③	前回の続き
7	中間テスト	作品を発表する
8	発信力 業界のトレンドを学ぶ	トレンドを学び、作品内容を決める(メイク・ファッション・ネイルなど)
9	撮影「テーマ」	実際に動画に使用する素材を集める
10	編集①	編集作業(テーマに合わせて編集を行う)
11	編集②	フィードバック編集作業
12	動画制作①	撮影→編集作業
13	動画制作②	撮影→編集作業 フィードバック
14	動画制作③	発表に向けた編集作業
15	定期試験	授業の集大成の作品を仕上げる

科目名 (英)	パーソナルスタイリング Personal styling	年次	1	実務経験	担当	こまい みゆ
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・専攻	トータルビューティ科 ・BP専攻	単位	4	有	開講区分	後期
講師紹介	株式会社ワールドへ入社後、約10年以上アパレル販売員として活躍し約36,000人以上のファッションコーディネートを担当。現在はイメージコンサルタントとしてイメージコンサルティングサロンを運営4年目。年間400名以上、総数2,000名以上のパーソナルカラー診断、骨格診断、メイクレッスン、ショッピング同行など老若男女問わず実施。また大手結婚相談所会員向けのレッスンも担当している。					
目的 科目概要	パーソナルスタイリング知識の測定試験「TOPSS」の公式テキストを使って、ファッションの基礎知識を身につけ、ファッション業界、美容業界での実務に活かせるスタイリング力、コンサルティング力、コミュニケーション力を習得する。					
到達目標	パーソナルスタイリングの基本となる服の知識、スタイル、アウトフィット、TPO、色、ヘアメイクとのバランスなどを理解し、実習を通じてスタイリング技術を習得する。アパレル業界で即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナルスタイリング振興協会 著	事前事後 学習と その内容	復習:TOPSSテキスト 宿題:パーソナルスタイリング提案			
教材						
特記事項	iPad 持参					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ	授業内容				
1	オリエンテーション	・自己紹介 ・TOPSSについて ・試験範囲 ・テキストの概要説明 ・パーソナルスタイリングとファッションスタイルの理解 ・骨格診断とは				
2	服の知識 P12～P34	・基本のファッションアイテム ・アパレル素材、サイズ、採寸 ・骨格診断とファッションアイテムの素材・柄・色との関係				
3	スタイルとイメージ P36～50	・ファッションスタイルとイメージワーク ・一般の方をスタイリングすること ・ヒアリング練習 ・提案、試着案内 練習				
4	アウトフィットとコーディネート P52～62	・体型とプロポーション ・体型カバーのコーディネートテクニック、カバーテクニック、年齢による体型の変化 ・カラーージュ作成				
5	TPO・アウトフィット P64～P72	・場に相応しい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方 ・TPOコーディネート				
6	パーソナルスタイリング実践①	・中間試験の範囲発表&これまでの復習 ・骨格診断の復習 ・パーソナルスタイリング実践+発表				
7	中間試験	・筆記試験 ・コーディネート実技				
8	メンズウェア P88～P100	・メンズウェアの基本 ・スーツ、カジュアルスタイル ・ポケットチーフ、ネクタイの結び方				
9	色彩とパーソナルカラー P74～86	・色彩が持つ特徴と印象 ・ファッションアイテムの色との関係 ・パーソナルカラー診断				
10	映画から学ぶファッションスタイルと服装マナー	・映画から学ぶファッションスタイル & 服装マナー				
11	ヘアメイクとファッション教養 P102～P118	・ヘアメイクとファッションの組み合わせ ・ファッションの歴史 ・環境とファッション				
12	パーソナルスタイリング実践②	・今季トレンドアイテムリサーチ ・サイトでリサーチ、実習室のアイテムリサーチ ・アイテム資料ショッピングリスト作成				
13	パーソナルスタイリング実践③	・ビジョンカラーージュ作成 ・アイテム資料ショッピングリスト作成 & 実習室アイテムリサーチ				
14	今までの振り返り	・ビジョンカラーージュ作成 ・今までの振り返り ・期末試験対策				
15	期末試験	・筆記試験 ・試験の振り返り ・スタイリング提案(グループ発表)				